

丹沢

河内川・コノマ沢(モロト沢)

メンバー:三井(単独)

遡行日:12年3月25日

3月の最終週末にその年の沢始め、としているが今年もその日を迎える事が出来た。幸いな事である。

今年の沢始めとしてPUしたのは丹沢のコノマ沢。

ネットで沢の検索をしている時、丹沢の沢でガイドブックやルート図集に載っておらずそれでいて結構面白そうな沢を何本か見つけた。

丹沢で今更そんな沢がある事に驚かされるが“安近短”の丹沢も奥が深い、という事か。

コノマ沢はその内の一本で、丹沢湖の南、不老山の枝尾根に突き上げる、直線で2Kmほどの小沢である。しかし、この小沢の中に滝が連続して懸かり面白らしい。半信半疑、釣られてみようか。

山北の道の駅の駐車場に車を止め、手早く支度を済ませスタート。

「ふれあいビレッジ」のキャンプ場に注ぐように流れているのがそのコノマ沢だ。

このキャンプ場は昨年の記録な大雨でコノマ沢から流れでた大量の土砂に埋まり、壊滅的な被害を受けた。

今も復旧作業中のようでコンボなど置かれているが殆どの土砂は取り除かれ、施設の建物も大分建て直されて

いて復旧は進んでいるようだ。

沢に入るとすぐ堰堤があり、銘板をみると48年「たどの沢」と記されている。コノマ沢がモロト沢とも呼ばれているとは承知していたがこんな名称は聞いたことはない。一瞬違う沢に入ったのか、と思ったが…。

堰堤を越えると6mほどの直瀑。立ってはいるがヌメっていないし、脆いホールディングを捨てれば水流の左から登れる。その先にまた堰堤。この堰堤の銘板には「モロト沢」の表示がされていた。

その先にまたまた堰堤がありしかも連続している。つい堰堤に気を取られそのまま進んでしまったが、本流は下の堰堤の右に曲がるように流れている。進む先に大きな滝があり気合がはいる。2段15mといったところか。直登は出来ず左岸のグズグズの急斜面から巻く。

シーズン始めはいつもそうだがルートが見えてこないし、動作も過剰に慎重で我ながら歯痒い。

沢は去年の記録的大雨の置き土産、流木が散乱している所や土砂の堆積した所があちこちにある。無残な沢の姿は見たくないが全国到る所の沢で起きている事だろう。

小滝の先が狭隘なゴルジュになっていて10mほどの直瀑。半円状の細い滝で水量が少なければつっぱって登れそうな感じ。

ここも左岸から巻くが落ち口に寄れないまま巻き上がって行くと仕事道に出してしまう。そのまま少し辿って行き、枝沢を2本横切って懸垂で沢床に戻る。ここから沢は平瀬状になるが暫く進ん

で行くと沢の両岸が狭まり、ゴルジュ状になり、小滝が落ちている。漸く荒れた雰囲気なくなり、沢もそれらしくなってきた。楽しんでみる。

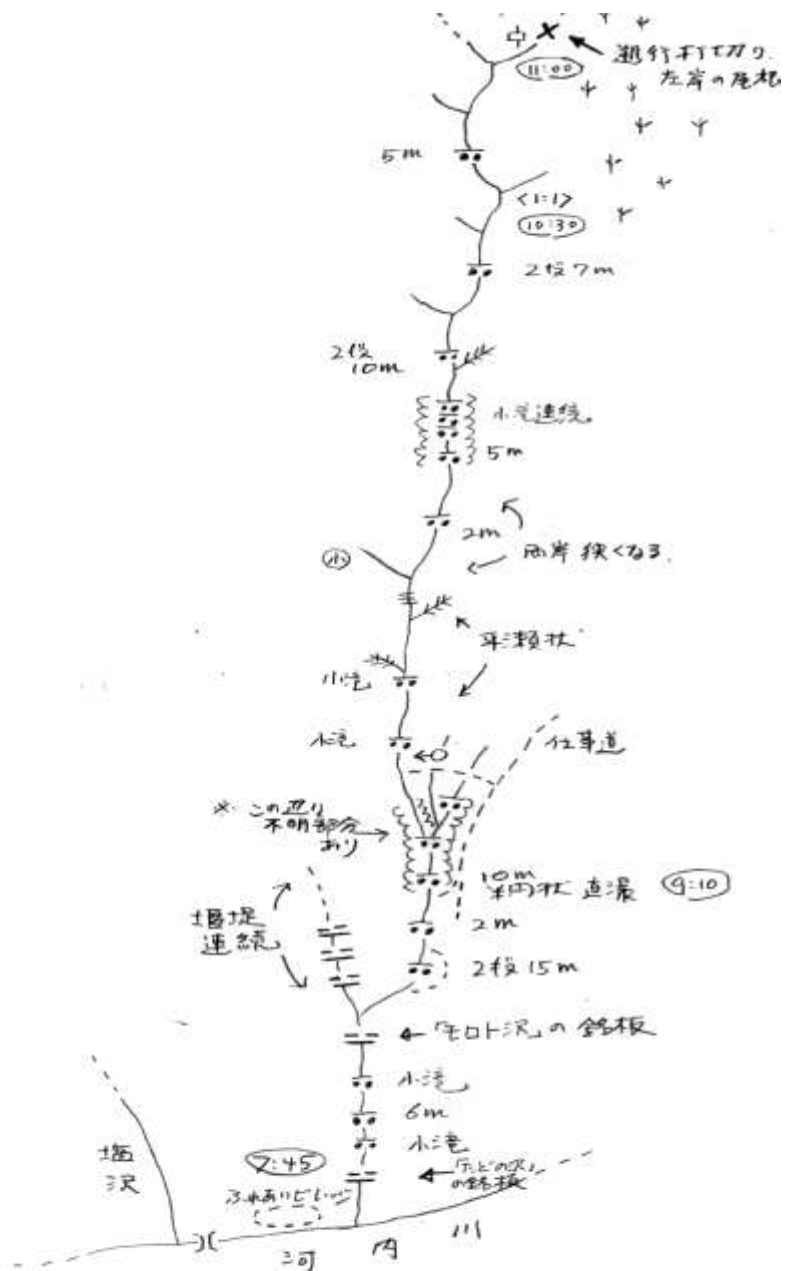
二俣になる。どちらに進むか足が止まるが左俣の奥に滝がみえるのでここは左へ。

5mの滝を越え、暫く行くとまた二俣。ここまでくればどちらにしても大差はなからう。右俣の先に何やら看板がみえる。行って見ると神奈川県を設置した水源やらの事が書かれた看板だった。

ネットの記録では大体のパーティーが適当な所で沢からあがって下降しているようだ。で、僕も「もういいか。」の気分。

左岸の斜面に取り付き、杉の植林の中を適当に下って出合いに戻って終了。

河内川の脇の空き地に群生したスイセンが満開で花を開いていた。傍に立っている桜もピンクのつぼみを沢山つけてもう春の雰囲気に溢れていた。今年も沢のシーズンが始まったがどんな一年になるのだろうか、沢も世の中も…。



12年3月25日  
 河内川・コマ沢

